

事業所名 放課後等ディサービス にこにこサポート

## 支援プログラム(参考様式)

作成日

令和7 年

2 月

17 日

法人(事業所)理念		障がい児が日常生活における基本的動作を習得し、及び集団生活に適応することができるよう、当該障がい児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切な指導及び訓練を行うと共にその保護者の指導を行うものとする。			
支援方針		一人ひとりの特性に合わせた支援を行い、「生活力」を伸ばせる療育に重点を置き、多彩な取り組みの中で自立の力を育てていく。それぞれの個性や仲間とのコミュニケーションを大切に将来にむけてご家族様と共に歩いていく。			
営業時間		平日 10 時 00 分から 18 時 00 分まで	休日 09 時 00 分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	健康状態の把握…利用時の体温測定、体調の確認 基本的な生活スキル・生活リズムの獲得…身辺自立、整理整頓、トイレトレーニング等 生活におけるマネジメントスキルの育成…構造化を意識した部屋のレイアウトや掲示物を作成			
	運動・感覚	姿勢と運動・動作の基本的技能の向上…体幹トレーニング、リズム体操の実施 保有する感覚の活用…季節や行事毎に壁面装飾を作成し、指先の感覚を体感し、視覚的にも楽しむ 感覚の特性への対応…感覚過敏用のイヤーマフ等の提案や個室の提供			
	認知・行動	認知の特性への対応…それぞれの認知特性を理解、共有し個別に対応する 行動障がいへの対応…研修修了者を配置し、適切に対応する 外部環境での適切な認知と行動の習得…時計、電卓、お金について個別に学習をする			
	言語 コミュニケーション	コミュニケーション能力の向上…集団活動を通じて基礎的な能力を育む 読み書き能力の向上…絵カードや学習プリントを活用した支援 言語の受容と表出…小集団でのグループワーク、音読や読み聞かせの実施			
	人間関係 社会性	遊びを通じた社会性の促進…ごっこ遊びや買い物体験、地域のイベント参加等を通じて社会性の発達を支援 アタッチメント(愛着行動)の形成…円滑なコミュニケーションや気持ちの受容・信頼関係の基盤形成を支援 自己の理解とコントロールのための支援…クールダウンの場の提供、気持ちの受容や代弁 集団活動への参加…ルールやマナーへの理解や危機管理能力の獲得			
家族支援		家庭での困りごとに対する助言やサポート 延長支援	移行支援		学校、相談支援事業者との連携 他事業所を併行利用している場合における併行利用先との連携 ライフステージの切替えを見据えた将来的な移行に向けた助言
地域支援・地域連携		近隣のスーパー等への買い物 地域行事への参加	職員の質の向上		担当者会議の実施 資格取得のための研修補助 スキルアップのための研修環境の整備
主な行事等		外出、外食体験、クッキング、節分、ひな祭り、クリスマス会等季節に合わせたレクリエーション			